

い医療費総額が増加することから、低所得者に配慮した軽減措置の拡充や高額療養費の基準額見直しがなされる予定であります。

この制度は、高齢者の皆様が安心して日常生活を過ごしていただくためのものでありますので、今後も一層、各関係機関との連携を取りながら適正な執行に努めます。

●介護保険は、平成29年度は第7期介護保険事業計画の策定年であり、平成37年度をピークに高齢者人口や介護サービス利用者の増加、一人暮らしや認知症高齢者の増加が予想されることから、高齢者を対象に生活圏域ニーズ調査を実施し、その結果の分析・検証を十分に行った上で計画を策定し、町民の皆様が故郷小平で安心して生活を送れるよう、健全な介護保険制度の維持・向上に努めます。

●国民健康保険は、平成28年度から非常に厳しい運営に陥っております。

このような中で、国の医療制度改革において、平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体となり適切な役割分担のもと、保険運営の中心的な役割を担うこととなりました。

平成29年度は、市町村がそれぞれの実情に応じた保険税の決定や条例改正の準備を進めることとなるため、国民健康保険運営協議会に諮りながら、本

事業会計の健全運営に努めます。

●特別養護老人ホーム「愛生園」は、在宅支援と中重度の要介護者を支える地域の重要拠点として、ますます、その役割が大きくなっており、「高齢者は功労者」の視点に立ち、関係機関と連携を図りながら、高齢者の目線にたち地域に密着した施設となるよう努めます。

主な施策内容	予算額
不妊治療費等助成金	500千円
乳幼児等医療費助成	4,668千円
各種予防接種委託料	9,579千円
妊婦一般健康診査助成事業	1,711千円
各種健診委託料	5,110千円

## 教育施策

●平成28年4月に一部改正された「学校教育法」において、小中併置一貫校である義務教育校の設置が認められたことで、学校のあり方が大きく変革しようとしております。

このような中にあっても教育委員会が果たすべき責任と役割は不変のものであり、教育的課題解決のため連携を一層強化します。

また、社会教育の推進は「第6次社会教育中期計画」に基づく社会教育施策の推進を継続します。

●具体的な施策として、鬼鹿小学校改築事業の実施のほか農業・漁業などでの体験学習の拡充、地元食材を積極的に活用する食育教育、幼稚園教育での子育て支援対策、「旧花田家番屋」での宿泊体験事業を継続します。

主な施策内容	予算額
通学バス運行委託料	19,289千円
鬼鹿小学校整備工事管理業務委託料	9,164千円
食育関連事業	2,600千円
小中学校パソコンリース事業	5,797千円
サポーターズクラブ補助金	3,000千円

## おわりに

以上、平成29年度の町政執行に臨む私の思いを述べさせていただきます。わが町「小平」の次の半世紀に向け、最終年度となる現小平町新総合計画の検証と「小平町総合戦略」や新たに策定いたします「仮称 第6次小平町総合計画」さらに、日ごろより頂戴してまいりますご意見を踏まえながら町民の皆様と意思を一つにし、希望に満ちた町政運営に心がけてまいりますので議員並びに町民各位のなご一層のご理解とご協力をお願いし、町政執行方針とします。

